

大樹の礎

Taiju no Ishizue

第11号 2013 5.8
 発行者：学校法人城西医療学園
 日本医療科学大学
 Nihon Institute of Medical Science
 〒350-0435
 埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276
 TEL.049-294-9000
 URL http://www.nims.ac.jp

President Message

知識教育と人間教育の両面から 医療の真のプロフェッショナルを育成

日本医療科学大学 学長 金子 勝治

実践を想定した「チーム医療演習」を開始

いよいよ新学期が始まりました。新入生および在校生諸君には、新たな気持ちで充実した1年間を過ごしていただきたいと願っています。

少子高齢化が進む中で、求められる医療のレベルは年々高くなっています。日本医療科学大学は、医療のプロフェッショナルを育成するための単科大学として平成19年に誕生しました。昭和59年に設立した城西医療技術専門学校（現：城西医療技術専門学校）の歴史の元に築かれた大学ですから、現在全国で約二千五百人の卒業生たちが活躍しており、各職場でOB、OGが率先して指導してくれるのも、本学の良さであると自負しています。

さて、医療のプロフェッショナルとは何か、ということですが、医療が高度になるほど、機械による作業が多くなり、ますます冷たいイメージになることを救うのが医療従事者の人間性です。患者様から見れば医師も診療放射線技師も看護師も同じ「病院の先生」です。患者様から信頼されるような人物を育成したいと考えています。そのため、本学では教育理念の一つ

である「人間の生命を尊重し、相互に助け合い、思いやりの精神をもち、かつ個人として自立できる人材の育成」に基づき、知識や実習だけでなく、人間教育にも焦点を当てています。一例ですが、本学を訪問した業者の方や病院関係者の方々が「大学としては珍しいくらい、外来の人に挨拶してくれる」と言ってくれます。挨拶は一朝一夕には身に付きません。病院などに就職した際、この挨拶がどんなにか患者様を癒し、医療仲間との交流をスムーズにするでしょうか。

また、昨年には、放射線学科、リハビリテーション学科共に、「チーム医療演習」をスタートしました。医療は各部門の専門家による分業化が進んでいます。例えば脳梗塞で倒れた患者様に対し、看護師は安静にさせたいが、リハビリのスタッフは意識が戻った時のことを想定し、一分一秒でも早くリハビリを始めたのです。自分の専門分野で冷静な判断をすると共に、他の医療従事者の考え方を知ること、患者様に対する治療プランを立て、患者様にとってベストな選択を考える演習です。

今年3月の学位記授与式の際、卒業生代表で謝辞を述べた屋比久大さんが言っていました。「臨床実習の大変さはあらかじめ理解していたつもりでしたが、実際に医療現場に出ると想像以上の責任と対応能力を求められました。この貴重な体験こそが本場に私たちを成長させてくれました」と。このチーム医療演習は実践の前の練習です。諸君は入学の時点で明確な目標を定めているのですから、学校で学んだ知識は必ず、就職後の現場で役立つものになるでしょう。

「海外研修」によりグローバルな視点を持つ

今年度、本学の事業計画のベースに置いているのは「学生満足度向上」です。その一環として、学生諸君に居心地良く過ごしてもらうために、在校生からの要望もあり、現在、一号棟と食堂がある二号棟の間の中庭の整備を行っています。実習、演習で疲れた際の憩いの場になればと思っています。

昨年からはスタートしたアメリカ・オレゴン州ポートランドでの海外研修は、海外の医療現場を見学し、国際感覚を身につける目的で実施しています。英



語で「温かくもてなす」という意味の「hospitality」の語源はラテン語の「hospice」（客人等の保護）であり、そこから生まれた言葉が「hospital」であることから分かるように、欧米の病院は患者様をもてなす考え方は、東洋は「医院」つまり医者の家に行くという意味であるように、欧米とアジアでは病院に対する考え方が違います。近年、日本の病院もコンシエルジュサービスを取り入れるなど、医療をサービス業としてとらえ始めています。また、世界での活動を希望する学生もおり、世界中で、在学時に海外の病院を見学するのは意義のあることと考えます。

保護者の皆様には「日本医療科学大学父母後援会」を通じ、年に二回会報を発行しております。本学では、生活面、就職面も含めて学生指導の態勢を整えております。引き続き、ご子息、ご令嬢の学校生活に関心を持ち続けていただければ幸いです。

平成
24年度

国家試験を終えて

放射線学科、リハビリテーション学科の各学科長、専攻長の先生方に、昨年度の国家試験結果から導き出される今年度の対策を伺いました。また、看護学科長、臨床工学科長のお二人に学科開設2年目に向けての抱負、そして全学科長、専攻長の先生方から新入生の皆さんに向けて、熱いメッセージをいただきました。

診療放射線技師の重要性が、 国家試験難易度の上昇に結び付く

診療放射線学科 学科長 中谷 儀一郎

今回の第65回診療放射線技師国家試験は、全国平均合格率が前回(65回)から約17%落ち込む結果となりました。難易度の上昇は、年々診療放射線技師の業務が拡大されるに従って顕著になる傾向にあり、今後も続くものと考えます。しかしながらこの現象は、診療放射線技師が医療において重要な役割を担っているがゆえであり、喜ばしいことと思っております。

本学においては、今後も続く診療放射線技師国家試験の難易度の上昇に対応すべく、教職員一丸となつて対策に邁進する所存でございます。一人の学生も脱落する事なく、当初の目的を達することを目標として指導致しますので、どうか保護者の皆様のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

そして、新入生の皆さん、本学を選び、入学してくれてありがとうございます。医療を目指す君たちの4年間は、決して平坦な道ではないと思ひます。しかしながら心配する事はありません。君たちは一人で歩くわけではなく、我々教員や大学の仲間

今年度の対策と新入生に 向けてのメッセージ

間がついています。医療を志す初心を忘れずに一緒に頑張りましょう。

今年度は新たな国家試験対策グループの 編成および対策を実施

リハビリテーション学科 学科長 猪股 高志

毎年100%合格を目指して国家試験対策を行っておりますので、今年度卒業生の理学療法学専攻3名、作業療法学専攻2名が不合格というのはとても残念です。ただし、合格率では理学療法士96.0%、作業療法士91.7%と全国平均を大きく上回っており、学生諸君の努力には敬意を表したいと思います。また、時には休日も返上しながら国試対策を行った、担任を中心とした各先生の努力の結果でもあると思っております。

前回の国家試験と比較して平均点が10点ほど上がつていまして、国家試験対策の全体的な方法や時期などは妥当であったと考えています。ただし、点数の低いグループには特別対策を行ってききましたが、平均点以上のグループと比較して著しく低い結果であったため、来年はこのクラスの底上げにも重点を置くように新たな国家試験対策グループ

の編成および対策を行います。

新入生の皆さんには、いよいよ新しい学びが始まりますね。プロ野球では開幕ダッシュ、すなわちスタートが重要と言われますが、リハビリテーション学科においても同様です。初日からしっかりと学習に取り組んでください。1年生からしっかりと頑張り、国家試験もそんなに苦労はしないと思います。分からないことがあれば積極的に質問するなど教員を有効活用し、出来るだけコミュニケーションをとるようにしてください。我々と一緒に頑張りましょう。

記憶だけでなく、臨床では症例を基に 考えさせる問題が増加

リハビリテーション学科 理学療法学専攻

専攻長 伊藤 芳保

国家試験に対し、本学は現役ではもちろん合格率100%を目標に取り組んできましたが、惜しくも届きませんでした。今年の理学療法士国家試験の全国平均は88.7%でしたが、本学は昨年引き続き、96%という高い合格率を得ることが出来ました。改めて学生間の学習への取り組みの強い協力があつて教えたり、教えられたり、自分が気付かないことを気付かせられることが大切であると感じました。また、担任の先生を始め、対策に協力していただきました諸先生方の賜物と感謝致します。

新任教員の 紹介



リハビリテーション学科
作業療法学専攻 教授 別所 文雄



診療放射線学科
教授 佐藤 洋



看護学科
教授 森田 恵子



看護学科
教授 酒井 美子



看護学科
講師 伊藤 直子



看護学科
助教 大津 真季子

State Examination

4年次になると国家試験対策を視野に入れながら、総合臨床実習に臨むこととなります。どちらも理学療法士として臨床に出るために必要な試験ですが、精神的、身体的に毎年強い負荷が学生にかかることが見受けられます。

ここ数年、全国平均合格率が厳しい状況が続いており、従来は記憶すれば回答できたような問題から、臨床でも症例を基に考えさせる問題が増えていきます。基礎科目の徹底した学習を行い、来年はぜひ100%合格を目指して、学生、教員が丸となって共に頑張っていきたいと思えます。

新入生の皆さん、本学は、医療従事者という社会的使命を持った人材を育成する大学です。医療従事者は人への慈しみと思いやり、尊敬の念を持ち、患者様と共に障害や疾患から回復を目指すことが大切です。入学してホッとしていると思えますが、今からがスタートです。一緒に理学療法士を目指しましょう。

経験豊富な専任教員のチームワーク、英知を結集し全員合格へ導く

リハビリテーション学科 作業療法学専攻

専攻長 本田 豊

国家試験に合格した多くの卒業生に心から祝福をしたいと思えます。同時に、卒業生全員の合格を果たせなかったという結果を重く受け止めた気持ちでいなければいけません。合格できなかった学生のご父母の皆様には、私たち教員の力が及ばずお子様のことで大変ご心配をお掛けしていることに対して、心よりお詫び申し上げます。

作業療法学専攻の強みは、経験豊富な専任教員のチームワークです。学生本人が誰よりも一番国家試験に合格したいと思っているはず。その

気持ちを結果に結び付けられるように全教員の英知を結集し、卒業生が全員国家試験に合格できるように頑張りたいと思えます。

新入生の皆さん、あなた方が努力することはいくらかもありません。そして、やる気になれば何でもできます。悔いのない4年間であるよう応援します。

明るく、知的な雰囲気看護学科を学生と共に盛り上げたい

看護学科 学科長 小山 英子

看護学科は第二期生を迎え、学生数も倍増しました。激動の21世紀の看護を担う大切な若者たちです。何ものにも代えがたい人の生命と向き合い、どのような状況の中でも何が必要かを考え、実践できる看護専門職が求められています。その基礎となる知識・判断力、技術・倫理観を身につけた看護専門職として社会に巣立っていきけるよう、看護学科の教員全員が力を合わせます。明るく、知的な雰囲気の看護学科を学生の皆さんと共に盛り上げていきたいと思っています。

2年生の皆さん、12月の基礎看護学実習IIでは、受け持ち患者の日常生活援助を実施するために、健康上の情報を収集し、分析・解釈し、どのような援助が必要かを考え計画を立て、実施し評価するプロセスを実際に体験します。コミュニケーション能力や倫理性はもちろん、さまざまな知識に基づいた判断力、援助技術が必要です。1年次最後の基礎看護学実習Iで学んだこと、感じたこと、気づいたことを忘れずに真摯に学習に取り組む、実習に臨んでください。

新入生の皆さんは、高校時代とは異なる90分授業や膨大な学習量、看護専門職をめざす上

で身に付けなければならない倫理観や態度など看護学生に求められるものは多く、学生生活への適応はなかなか大変だと思います。初心を忘れず、謙虚さを失わず、強い心をもって日々歩んでください。地道に学習する習慣を身につけるとともに、人の話を聴く力、自己の意見を発信する力をつけてください。規則正しい日常生活を送り、身のまわりのことは自分で行う習慣をつけることも、人の世話をする看護職になるうえで必要なことです。皆さんには力強い先輩や教職員がついていきます。悩みがあれば一人で抱え込まず、気軽に相談してください。

切磋琢磨の勉学環境を学生と教員が共につくる

臨床工学科 学科長 平井 紀光

開設2年目を迎える臨床工学科の新2年生は、先輩がいなかったため目標にやや曖昧さがありましたが、新入生を迎えたことで第一期生としての自覚が確実に芽生え、目標が明確になってきました。

新2年生は、物理・電気・電子などを基礎とする実際の医療機器の取扱い実習体験では、医療機器の特徴をよく知り、積極的に取り組む姿勢が必要です。今年度は先輩、後輩の有機関係と切磋琢磨の勉学環境を学生と教員が共につくりたいと思えます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。「おめでとう」の言葉の意味には「良かったね」という入学の喜びの意味だけではなく、困難を乗り越え、人格を磨き、人間として成長することへの大きな期待の意味があるのです。医療のプロの道は容易なことではありません。不断の努力にこそ興味が生まれ、勉学の喜びがあるのです。



看護学科 助教 久野 明子



看護学科 助教 山岸 貴子



看護学科 助教 垣本 尚美



看護学科 助手 奥野 友紀子



看護学科 助手 宇留野 知美



臨床工学科 教授 永野 秋雄



臨床工学科 講師 遠山 範康

